

わかくさ

社会福祉法人 栄光会
〒787-0155 高知県四万十市下田2211

・児童養護施設 若草園

Tel (0880) 33-0247

Fax (0880) 33-0518

・児童家庭支援センター わかくさ

Tel (0880) 33-0258

知ってください
オレンジリボン
オレンジリボンは、子ども虐待防止のシンボルです



子どもの
命と笑顔を守ろう

(財) 高知新聞厚生文化事業団 助成事業

高知オレンジリボンキャンペーンのポスター

主編 厚生労働省・内閣府

守ろうよ
未来を見つめる
小さな命



11月は児童虐待防止推進月間です。

虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときやご自身が出産や子育てに悩んだときには 児童相談所や市町村の窓口ご連絡してください。

——児童相談所全国共通ダイヤル——
お住まいの地域の児童相談所に電話をおつなげします。

0570-064-000

オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。

厚生労働省のポスター

11月は児童虐待防止月間です

若草園 施設長 沓野一誠

厚生労働省は平成2年から児童相談所に寄せられる児童虐待相談件数を公表し始めました。その数、平成2年は一、一〇一件、平成13年二、二七四件、そして昨年の平成20年は四二、六六四件でした。この20年間、実に40倍の増加となつてしまいました。そして、虐待を受けたために尊い命を絶たれてしまふ子が毎年50名にもなります。しかしここに現れた数字は氷山の一角でしかなく、全体の1〜2割程度ではないかとも言われています。

虐待を受けた子どもは心身に深い傷を負います。そしてこの傷を癒すには長い時間と医療・カウンセリングをはじめ多くの関係機関が多大な労力を注がなければなりません。そして、傷が癒えないまま放置された子どもは、その傷を一生背負って生きていくことにもなりかねません。私たちにできることは、児童虐待という悲惨な状況になる前に、あらゆる手立てを尽くして未然に虐待を防ぐことだと思えます。地域社会や行政、関係機関が連携して困難を抱える家族を支援する仕組みが必要です。

若草園は昨年「児童家庭支援センターわかくさ」を立ち上げました。子育てに悩む親からの相談や子ども自身からの悩み相談に対応します。また近隣の心配な家庭・子どもについての情報・相談も寄せてください。センターの活動が子どもへの虐待予防の一助になればと願っています。



9/13 作文コンクール表彰式
高知県モラロジー協議会主催のコン
クールで右の作品が優秀賞（高知県
教育長賞）を受賞しました。

私は七年間、祖母と暮らしていました。親の事情により、祖母の家にいそろうしていました。一緒に散歩に行ったこと。買い物に行ったこと。その他すべてが思い出です。

でも、こんな幸せな生活もあつという間でした。祖母が具合が悪く病院に入院することになり、親の事情もあり、育て手がいなくなり、四万十市内の施設に入所することになりました。私は不安で、すごく胸が熱くなりました。

いよいよ、お別れの時がやってしました。私は祖母と離れるのが嫌でした。七年間、一緒に暮らしてきた分、涙が溢れてきました。私は言いました。「離れていても家族だよ。」

祖母はうつむいたまま、涙だけがこぼれ落ちていました。

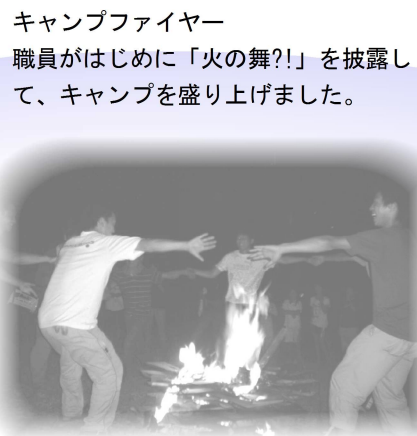
作文コーナー

中3 N・R

離れていても家族だよ



四万十川での水泳
日本最後の清流と呼ばれる四万十川の中流域で思う存分およぎました。

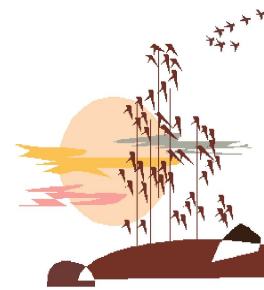


キャンプファイヤー
職員がはじめに「火の舞?!」を披露して、キャンプを盛り上げました。



バーベキュー
炭火おこしでは日頃のボーイスカウト活動で訓練してきた成果が発揮されました。

8/2~4 毎年恒例の園キャンプ ★四万十町大正・轟キャンプ場にて
子ども42人、大人18人、総勢60人で夏の思い出ができました。



夏の思い出～ 子どもの活動



6/14 花のプレゼント来訪
教会暦の「花の日」に宿毛栄光教会から12人が訪れて、子ども讃美歌の演奏と花かご7つを頂きました。

7/18 第7回 下田子ども夏祭り ★下田小学校にて
毎年この時期、下田中学校・小学校・保育園・若草園の合同で行っています。



若草園職員デュエット
カラオケの時間に、園の子どもに思いを寄せて創った歌を弾き語りました。



小1・2年生
『♪お祭りワッショイ』の音楽に合わせて、おみこしと踊りました。



▲集めたゴミの量

ボーイスカウト高知県連盟 中村第1団は若草園で組織する団体です。



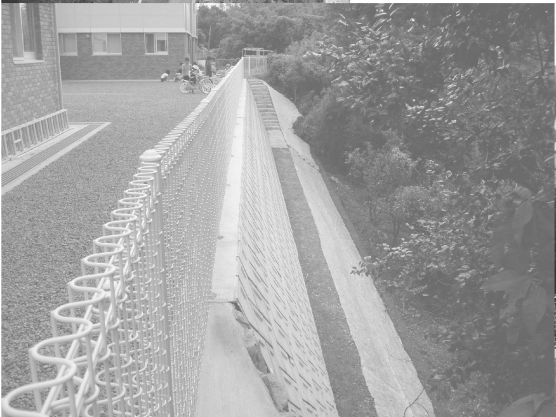
平成21年度 スカウトの日 日本全国統一行動日

9/21 ボーイスカウト活動

- ◆ 実施プログラム：環境美化・環境保全の活動
- ◆ 実施場所：下田上区、平野県道、平野山道、平野漁港
- ◆ 参加人数：スカウト=22名、リーダー=11名
- ◆ ゴミの種類：タバコの吸い殻、食品の包装・容器、飲料用ペットボトル・缶・びん・キャップ、破片・針金・くぎ
- ◆ 集められた数：空き缶=62、ペットボトル=54
- ◆ ゴミ袋の数：四万十市指定ゴミ袋大12袋



▲茂みの中からも……



今回の工事で、最大4m×2・8mまで、建物裏側の余地を広げることが出来て、子ども達も安心して遊ぶことが出来るようになりました。

Dホームの洗濯物干し場も、崖が迫ってきていて不自由な状態でしたが、ひろびろと張り広げることが出来るようになりました。

7月から着工しておりました、園の南側斜面擁壁工事が8月末に竣工しました。工事前は、右の写真で、人の先にある溝の部分までしか敷地が無く、その先からは工事中の写真に見られるように、急斜面になっておりました。

南斜面工事が完了しました



7/26 下田地区太鼓台
地元部落の行事に子ども達も参加。当日はあいにくの雨でしたが、おみこしを担いでまわりました。



～ベビールームから～

昨年、新たに開設されたベビールームの子ども3人(現在は3人とも2歳児)も、元気にすくすくと育っています。このごろはトイレも上手になって、眠るとき以外は紙パンツをしなくても大丈夫になりました。



▲夏祭りにも行ったよ
▲みんなでお出かけ



§ 若草園の虐待防止への取り組みについて §

昨年2月に、高知県内でも児童虐待死の事件が発生したことは耳新しいことです。また、同11月には県内施設内での虐待が行われていたことも発覚しました。

これらのことを受けて、若草園でもあらためて子どもを守るために、職員の教育や、制度づくりにとりくんできました。園内の職員研修を今まで以上に行い、厚生労働省からの「被措置児童等虐待対応ガイドライン」も全員に配布し、2度と悲惨な出来事が起こる事がないように話し合いの機会を持ってきました。

そのしくみの1つとして、今年度から「苦情受け付けポスト」を設置して、3月末の職員配置転換の発表のときに合わせて、子ども達にもお知らせしました。

誰にも言えない事でも、内密に心の訴えを受け取れるポストとして活用されています。

▶ 苦情受け付けポスト
みんなが利用するホールの図書コーナーに設置されています。

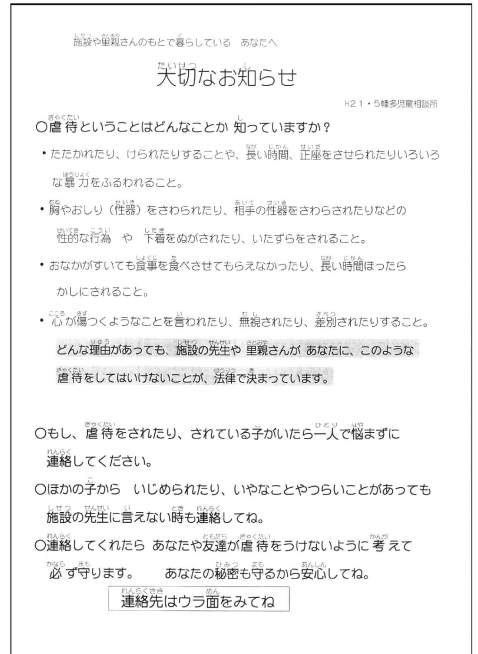


▲ 公衆電話
管理棟のホール入口にあります。

5月23日(土) 幡多児童相談所から若草園の児童ひとり一人に右図のパンフレットが手渡され、面談が行われました。

パンフレットには小さい子どもにも「虐待」の意味と内容が分かるように説明されており、もし虐待を受けたり、見たりした場合には電話をするように、連絡先と電話番号が書かれています。

受け取った子どもの中でも、頭の回転の速い児童は、職員が注意をし始めると、「あんまり言うたら、電話するでえ」と逆手にとる子どももいたと、職員会で談笑した事でしたが、子ども達にとっても、「いざと言うときのホットラインが出来た」との思いができたようです。



★ お知らせ ★

ガーデンパーティー中止について

『ガーデンパーティー』は、若草園を地域の方々に開放して、毎年この時季に恒例で行われております。前回、落成式の直後に開催いたしました、ご好評を頂いております。

今年度も、11月中旬の予定で『ガーデンパーティー』を計画・準備しておりました。

ところが、ご周知のとおり、新型インフルエンザの世界的流行、県内各地で相次ぐ感染・発症が報道されております。

国や県からの通達もあり、大人数が集まる行事は自粛し、子どもの健康を優先するため、今回は実施を見合わせていただきます。またの機会にご案内をさせていただきます。

～平成21年度前期～ 苦情解決報告

- よせられた件数：3通（いずれもポストへ投函）
- 申し出の内容：
 - ・ ケース1＝特定の学童女児が、他の児童に対してわがままを言うので大人から注意して欲しい。
 - ・ ケース2＝特定の指導員が注意するとき手をあげるので、園を辞めさせて欲しい。
 - ・ ケース3＝ケース2とほぼ同様の内容。
- 解決の方法：
 - ・ ケース1＝申し出た児童と話しの中で、申し出を取りさげてください。なお、なかよく遊べれるように指導した。
 - ・ ケース2・3＝関係する児童、ホームの職員を集め、状況・事実関係を確認した。子どもと職員も和解して、共に暮らしていく事の大切さを話しあった。